

設楽ダムだより

第6号 2003.11

編集・発行
国土交通省中部地方整備局
設楽ダム工事事務所
〒441-1341
新城市杉山字大東 57 番地
Tel&Fax 0536-23-4331
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

設楽ダム建設推進 に向けて協定書調印

去る十月二十日、後藤米治設楽町長と村田進中部地方整備局長との間で、「設楽ダム建設事業の推進に関する協定書」の調印式を、神田真秋愛知県知事の立会いのもと、愛知県公館において行いました。この協定には、設楽町のダム建設事業推進への協力や国による生活再建及び水源地域振興について表明されています。この協定の締結により、今後、設楽ダム建設事業は、設楽町との信頼関係のもとにより一層の円滑な実施が期待されます。



左から村田中部地方整備局長、神田愛知県知事、後藤設楽町長

設楽ダム建設事業 環境影響評価 技術検討委員会 委員名簿

担当	委員氏名	現	職
鳥類	あがさわら 小笠原 昭夫	名古屋聖霊短期大学	非常勤講師
植物類	さいじょう 西條 好迪	岐阜大学	助教授
昆虫類	さとう 佐藤 まさたか 正孝	名古屋女子大学	名誉教授
藻類	たなか 田中 まさあき 正明	四日市大学	教授
ほ乳類	まえだ 前田 きしお 喜四雄	奈良教育大学	教授
水質	まつお 松尾 なおき 直規	中部大学	教授
魚類	もり 森 せいいち 誠一	岐阜経済大学	教授

環境アセスメント スタート

設楽ダムは環境影響評価法により規定されている一定規模以上のダム事業であるため、同法に基づいた手続きをとっていきます。環境アセスの検討を最新の科学的知見に基づき行うため、専門家から構成される「設楽ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会」を設置し、その第一回委員会を十月二十三日に開催しました。

委員会では佐藤正孝氏を委員長として選出したほか、今後の手続きの流れや、現在までの環境調査結果を報告し、審議が行われました。今後は、方法書、準備書、評価書の作成等の手続きに関わる段階において委員会を開催し、専門家の技術的助言を求めていきます。

委員会資料は、当事務所または中部地方整備局総務部総務課（情報公開室）にて閲覧できるほか、当事務所ホームページにも掲載してまいります。

物件調査・生活再建 意向調査に着手予定

今年二月より実施している「用地調査」は、設楽ダム対策協議会の役員をはじめ、各地区の皆さまのご協力をいただき、順調に進んでいます。

調査が遅れていた「小松・長江」地区も、七月末から現地での作業に着手しました。

これで関係六地区のうち五地区で用地調査を実施することとなり、今後は、調査を終えた区域から、順次「物件（家屋）調査」を開始する予定です。

また、昨年度実施した「生活実態調査」を踏まえ、移転者の方々と個別に移転計画等を相談させていただき、「生活再建意向調査」も併行して実施する予定です。

引き続き、調査にご協力をお願いします。

付替道路計画のための 地質調査に着手

付替道路計画に付きましては、今年九月より地形測量を四地区（八橋・長江・小松・大名倉）において実施しておりますが、続いて地質調査に着手する運びとなりました。作業は今年十一月から来年三月までの予定で、現地で地質確認のためボーリング調査を実施します。（左写真参照）これは、付替道路予定ルートには、橋やトンネルなどの構造物が計画されますが、その設計・検討に必要な地質データを収集するものです。

今後、地形測量を実施中の地区を始め、必要な箇所において、関係者の方々のご理解・ご協力を得ながら、順次、地質調査を進めて行く予定です。



ボーリング調査（例）



路線名		
	八橋・長江・小松	大名倉
	31箇所	8箇所
	平成16年3月10日まで	年度内（今後発注予定）